

令和5年度 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会（第2回）

および 福井県管理河川 嶺北・嶺南ブロック減災対策協議会（第2回）

【議事概要】

日時：令和6年3月18日（月）9時30分～10時30分

場所：Web開催

<議事概要・次第>

- (1) 九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会
令和5年度の取り組み実績と令和6年度の取り組み予定
- (2) 福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災に係る取組方針（変更案）
- (3) 福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会
令和5年度の取り組み実績と令和6年度の取り組み内容

<幹事会報告>

○幹事会報告資料

説明は割愛し資料配付のみ。

九頭竜川・北川大規模氾濫減災協議会

<令和5年度の取り組み実績と令和6年度の取り組み内容>

○資料1

令和5年度の取り組み状況および令和6年度の取り組み予定について、福井河川国道事務所より説明。ソフト対策34項目のうち、令和5年度までに33項目を実施。

（取り組み事例の紹介）

防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の充実

- ・ 防災に関するパネル展、『わが家のぼうさいコンテスト』を実施。令和6年も引き続き実施
- ・ 福井市明新地区において、マイタイムライン作成ワークショップ等を開催。令和6年度は、他の地区においても引き続き実施

水防活動支援のための情報共有

- ・ 関係市町と合同で、重要水防箇所の点検を実施

ふくい県域タイムライン

- ・ ふくい県域タイムラインの概要、運用イメージ等について説明
- ・ Web危機感共有会議については、令和5年度に16回開催。令和6年度も引き続き開催

<福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災に係る取組方針（変更案）>

○資料2

令和4年6月に定めた『福井県管理河川嶺北・嶺南ブロックの減災に係る取組方針』の変更案について県より説明。現在、国、気象台、県および市町で策定を進めているふくい県域タイムラインの取組みを踏まえ、「流域タイムライン」を「ふくい県域タイムライン」と改めるなど、変更案について説明。

福井県管理河川（嶺北・嶺南ブロック）減災対策協議会

<令和5年度の取組み状況と令和6年度の取組み予定>

○資料3

県協議会における令和5年度の取組み状況について、福井県土木部砂防防災課・河川課より説明。県協議会の取組み33項目のうち、令和5年度は31項目を実施。

（取組み事例の紹介）

タイムライン、防災マップの作成支援

・国、市町と連携して防災出前講座を8地区、のべ10回実施。令和6年度も引き続き実施
ハザードマップの普及促進

- ・県内17市町全てにおいて、想定最大規模のハザードマップの作成・更新、全戸配布を実施し、これらに加えて県内13市町において、ハザードマップの説明会や、ハザードマップを活用した避難訓練を実施したほか、ホームページや広報誌への掲載等、周知活動を行った。令和6年度も引き続き周知活動を実施
- ・国土交通省が令和5年5月に「水害ハザードマップ作成の手引き」を改定したことを受け、改定内容について周知

津波に対する避難体制の強化等

- ・県内沿岸11市町における、津波ハザードマップの作成・公表状況について説明
- ・令和6年度も、各市町が主体となり、津波のリスク情報の周知や避難訓練を行うなど、避難体制の強化を実施

要配慮者利用施設における避難確保計画作成、避難訓練への支援

- ・浸水想定区域内の要配慮者利用施設における避難確保計画作成については、概ね100%を達成。今後は、計画に基づく避難訓練の実施および避難確保計画の改善についても促進・支援していく

避難行動のための情報発信

- ・令和5年度は35箇所の水位計、5箇所の河川監視カメラを増設。令和6年以降も、市町等関係機関と意見交換を行いながら、水防活動を行う上で現地の状況把握が必要な箇所や地域防災活動への活用要望がある箇所に増設を予定

小中学校や地域住民への防災に関する出前講座、パネル展の実施

- ・令和5年度は、福井市や池田町などで、水害・防災に関する出前授業を開催するとともに、防災や流域治水に関するパネル展を展示
- ・令和5年7月には、福井工業大学と連携し、流域治水に関するリーフレットを作成して市役所や図書館などで配布したほか、出前授業や防災講座等でも教材として活用

出水に対するダムや河川改修効果の情報提供

- ・出水に対する、ダムや河川改修の効果について、県ホームページにおいて掲載している旨周知
- ・令和5年7月13日の大雨の際の荒川における河川水位低減効果など具体例を説明

<各市町における令和5年度の主な取り組み状況、令和6年度の主な取り組み予定>

以下、各市町より減災の取り組み事例について説明。

<福井市>

避難訓練の実施

- ・広域避難や民間施設等の避難場所の確保にかかる取り組みとして、令和5年度は、市内遊技業関連事業者と災害時応援協定を締結
- ・令和6年度は、地域住民への防災に関する出前講座の実施、高齢者の避難行動の理解促進、自主防災組織の活用・強化等に取り組む予定

ハザードマップの周知・活用等

- ・音声コードに対応した「やさしい日本語版ハザードマップ」の事例や、手話動画によるハザードマップ解説、令和6年2月からリニューアルされた、市ホームページのユニバーサルデザイン化等についての取り組み事例の紹介

<敦賀市>

水防体制の強化

- ・令和5年度は、自主防災組織や防災士等を対象とした講演会を実施する等、自主防災組織の活用・強化を図った
- ・市の職員が住民の避難訓練参加し、出前講座を開催。訓練結果についても、市のホームページで内容を公開するなどして水平展開を図った
- ・令和6年度についても、外部講師による自助・共助に関する講習会の開催や、防災訓練にかかる費用の一部を補助する等、防災体制の強化を図る予定

<小浜市>

防災体制の強化

- ・令和5年度は、地域の防災意識と自助・共助の力を高めるため、市の防災訓練へ積極的に住

民の参加を促し、参加した住民を対象に、小浜市防災士会がハザードマップやタイムラインの説明などに加え、防災グッズや防災食の試食などを行った

- ・令和6年度は、市防災訓練の会場（地区）を変えて実施する等、令和5年度の取り組みを水平展開するとともに、地区単位の自主防災組織の組織化の推進や各地区における防災訓練にかかる経費の助成を行う予定

<大野市>

防災メール、SNSの利用登録促進

- ・令和5年度は、大野市防災メールおよび大野市公式LINEの登録促進を図るため、QRコードの全戸配布や成人式におけるチラシ配布など、様々な場面で登録の呼びかけを実施
- ・令和6年度は、これらの取り組みと併せ、市の広報誌による登録促進や、自主防災組織を通じて住民への周知を実施予定

<勝山市>

避難行動のための情報発信等

- ・令和5年度は、昨年度に引き続いて、市内の主要な河川に監視カメラや水位計を設置し、市のホームページで情報発信を行うことで、早めの避難情報発令や住民の避難行動の確保に努めた
- ・令和6年度は、より持効性のある防災行動・避難訓練につなげるため、町内会、自治会および自主防災組織等を対象に、地域防災マップの作成を促進・支援する予定

<鯖江市>

地域包括支援センター・ケアマネージャー等と連携（個別避難計画の作成）

- ・令和5年度は、町内会、ケアマネージャー等と連携し、実質的な個別避難計画を作成するとともに、19の社会福祉法人与直接避難に対応した協定締結を行った
- ・令和6年度は、指定福祉避難所における防災訓練や二次的福祉避難所の検討に取り組む予定

<あわら市>

防災士の組織化とリーダー育成

- ・令和5年度は、あわら市防災士の会と連携し、市の総合防災訓練の前日には避難所運営や避難所への受け入れ訓練を実施し、総合防災訓練の当日には、防災リュックの紹介や防災士の会の活動状況等の展示を行うなど活動報告を実施した
- ・令和6年度も引き続き防災士の会と連携し、地域の防災リーダー育成のための活動を実施予定

<越前市>

防災に関する啓発活動

- ・令和5年度は、区長および民生委員による個別避難計画作成を支援する取り組みとして、ケアマネージャー等の福祉専門職を参画させる取り組みを行った。これらの取り組みにより、要支援者の詳細な情報を網羅した個別避難計画するなど、より精度の高い計画作成に努めた
- ・令和6年度は、防災訓練や各地区の説明会において、個別避難計画について議論を深めるなど、地域の防災に関する意識の向上に努めてゆく

<坂井市>

水害対応タイムラインの作成・活用

- ・令和5年度は、市の防災情報を網羅した防災ガイドブックを作成・配布した。防災ガイドブックには、マイタイムライン作成シートを記載し、市民に作成を促す取り組みを実施
- ・令和6年度は、今年度作成した防災ガイドブックを活用し、出前講座等を通じてマイタイムラインを含む防災情報の普及啓発を図る予定

<永平寺町>

要配慮者利用施設の避難訓練実施

- ・令和5年度は、災害時の協力協定を町と締結した福祉避難所において、風水害を想定した福祉避難所の開設および運営訓練を実施。また、これらに併せて要配慮者宅における垂直避難訓練や、指定福祉避難所への搬送訓練も実施
- ・令和6年度は、これまでに引き続いて自主防災組織への支援を行うとともに、学校等への防災教育の実施、地域企業連携の推進および個別避難計画ワークショップの開催を予定

<池田町>

避難訓練の実施

- ・令和5年度は、地区ごとのタイムラインや避難経路の検証・改善を行うべく、ハザードマップやタイムラインを活用した避難訓練の実施を支援した。また、これらと併せて、避難訓練における避難先である指定緊急避難場所において、避難用テントの設営やAEDの講習会、消火体験等を実施

<南越前町>

避難行動のための情報発信等

- ・令和5年度は、令和4年8月の大雨による被害が大きかった集落の住民の避難行動につなげるため、水位計および河川監視カメラを設置し、県のホームページ上で情報発信を行っ

た。また、夜間や大雨時でも河川水位の情報が確実に住民へ伝わるよう、水位計および河川監視カメラの設置箇所付近にサイレンと回転警告灯を設置し、住民説明会を実施

- ・令和6年度は、住民が避難情報等を取得した際に迅速かつ的確な行動がとれるよう、マイタイムライン等の作成を支援予定

<越前町>

防災に関する啓発活動、水害（防災）教育の拡充

- ・令和5年度は、昨年度に引き続き小中学校や地域住民へ防災に関する出前講座やパネル展等を実施
- ・令和6年度も、引き続き出前講座などの取り組みを継続することで、地域における自助共助を促進し、地域の防災力の向上を目指す

<美浜町>

避難行動のための情報発信等

- ・令和5年度は、住民自らの避難行動を促し、かつ迅速な避難行動を行うための判断材料として、町内の河川8箇所に水位計および河川監視カメラを設置し町のホームページにおいて情報提供を開始。今後は、県とも連携し、県のホームページでも情報発信したい考え
- ・令和6年度は、自主防災組織への各種補助、町の防災士向けの各種講習に加えて、住民向けの出前講座等も実施予定

<高浜町>

地区防災計画策定支援

- ・令和5年度は、昨年度に引き続き、共助による防災活動を支援することを目的とし、和田地区をモデルとして地区防災計画の策定を支援
- ・令和6年度は、和田地区の事例を町内に水平展開するなど、共助による防災活動を支援していく予定

<おおい町>

防災に関する啓発活動、水害（防砂）活動の充実

- ・令和5年度は、小中学校を対象に、町の防災専門員による防災研修・講話や防災資機材の設置訓練を実施
- ・令和6年度も、引き続きこれらの取り組みを実施予定

<若狭町>

水防体制の強化

- ・令和5年度は、消防職員、消防団員、赤十字奉仕団および町職員による水防訓練を実施

し、水防工法の知識および技術を習得した

- ・令和6年度は、要配慮者利用施設の避難訓練の促進、個別避難計画の作成および自主防災組織への支援を予定

<その他・質疑等>

意見、質疑等無し。